

特定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会 第4回通常総会議事録

- 1. 招集年月日 平成 24 年 5 月 7 日
- 1. 開催場所 ランチョ エルパソ 2F (帯広市西 16 条南 6 番地 13-20)
- 1. 開催日時 平成 23 年 6 月 2 日 午前 11 時
- 1. 会員総数 30 名 (個人 17 名, 団体 13)
- 1. 出席者数 20 名
 - 内訳 議決権者出席 10 名
 - 非議決権者 10 名
 - 委任状出席 9 名

1. 議長ならびに議事録署名人の選任、書記の指名の経過

定刻に至り司会者 花房俊一理事が開会を宣言し、本日の第3回通常総会は定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、定款の規定により議長には理事長が指名された。議長より挨拶の後、本日の議事経過を議事録にまとめるに当たり、書記および議事録署名人を指名したい旨を述べたところ、満場異議なく賛成があったので、議長は、次の者を書記および議事録署名人に指名した。

書 記：真野純司(株式会社 マルハニチロ畜産)

議事録署名人：佐々木洋介(芽室町農業協同組合)

議事録署名人：横山 真(カルビーポテト株式会社)

ついで、議案の審議にはいった。

1. 議事の経過の概要及び議案別決議の結果

第1号議案 2011年度 事業報告ならびに決算報告

議長からの要請により 2011年度事業報告について別紙総会議案書に基づき、花房理事から説明がなされ、理事長より機関誌発行に関連して機関誌の名称「アグリサイクル」が商標権侵害との指摘を受けて、提訴対抗措置をとり、機関誌名を変更する方針に至ったことの経過について補足説明がなされた。逐次審議したのち、議長より議案を承認したい旨を諮ったところ異議なく可決された。別紙資料は、資源循環型牛肉生産シンポジウム 2011 事業報告書、2011 年度レインボー・パル基金助成対象活動報告書 (肉牛飼養技術研修会資料 2)である。

2011 年度収支決算報告

次いで、議長からの要請により花房理事から別紙資料に基づき 2010 年度収支決算の報告がなされた。機関誌発行がなかったため前年度より繰越金が増加する結果となったが、機関誌発行を仮定すると 2011 年度の繰越金額は設立時の額とほぼ同額であることの補足説明があった。また、第 8 回シンポジウムの経費は総額¥441,331 であったが、北海道ア

ンガス牛振興協議会、北海道日本短角種研究会との共同開催で実施し、両会からの協賛金により協議会の負担は大きく圧縮されたことなどが説明された。逐次審議したのち、議長からの要請で内藤監事から会計監査報告があり、適正な会計処理がなされていることが報告された。議長より監査報告を承認したい旨を伺ったところ異議なく可決された。別紙資料は、決算書・監査報告、収支計算書、貸借対照表および財産目録である。

第2号議案 2012年度事業計画および予算案

議長からの要請により2012年度事業計画について別紙総会議案書に基づき、花房理事から提案と説明があった。事業計画は定款の事業項目ごとに分類されており、定款5条1-③のモデル事業は前年度からの継続事業としてレインボー・パル基金助成と稚内樺岡樺岡ファームと足寄大平牧場からの受託研究事業について収牧後の肥育段階と出荷後の枝肉成績の検討を実施する旨の説明がなされた。

第9回資源循環型牛肉生産シンポジウムは前年と同様に北海道アンガス牛枝肉共励会および北海道日本短角種牛枝肉共励会の日程に合わせて10月末から11月初旬に帯広市内で開催する計画であることなどの説明があった。機関誌は名称を変更して第10号を発行する予定であること、e-ビーふ認証事業の活性化を図るため、認証農家を発掘する取り組み、「e-ビーふ」の商標登録を取得し、e-ビーふ生産の意義、e-ビーふの消費者向けアピールを強化する取り組みなどが提案され、逐次審議したのち、議長より原案を承認したい旨諮ったところ異議なく可決された。別紙資料は、北海道庁提出用の平成24年度事業計画書である。

2012年度予算案

議長からの要請により別紙資料に基づき花房理事より2012年度予算案が提案され、「e-ビーふ」商標権取得と10年間の権利維持に要する費用はおよそ¥150,000と見込まれ、通常の前年度の範囲内では支出が困難と見込まれるので、特別寄付金の取得と商標「w-ビーふ」の認定シールを作成し、e-ビーふ販売時に認定シール貼り付け使用料を徴収する計画が説明された。これに関連して認定シールの管理の重要性が指摘された。理事長より、前年度同様の緊縮予算になっていることからシンポジウムは開催形態の大幅見直しを行って実施することについて会員の理解と協力が求められた。逐次審議したのち、議長より原案を承認したい旨諮ったところ原案通り可決された。別紙資料は、平成22年度特定非営利活動にかかる収支予算書である。

その他

理事長より2012年度第9回シンポジウムの開催期日、テーマ、開催形態などについて配付資料を基に出席者からの発言が求められた。意見交換の内容は以下の通りに集約され、これらを今後の理事会、幹事会で検討していくことが確認された。

1. シンポジウムテーマとして、e-ビーふ認証基準の一つとなっている動物福祉に関する内

容を取り上げる。動物の取扱いの国際基準の紹介等

2. e-ビーふの特長アピールに関してレストランシェフの求める牛肉についての話題
3. 従来の e-ビーふ生産技術関連テーマから生産物としての e-ビーふ牛肉の肉質特性に軸を変えた話題
4. 副産物飼料のみならず、飼料米を含めて自給飼料、有機飼料等の情報と話題

以上をもって第3回通常総会の議案全ての審議を終了したので、議長は閉会を宣言し12時10分に散会した。

上記の議決を明確にするため、議長および議事録署名人において次に記名押印する。

平成24年6月 6日

特定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会 通常総会において

帯広市大空町7丁目14番地2

議 長 左 久 印

河西郡芽室町西4条南1丁目1番地 JA 芽室町 内

議事録署名人 佐々木洋介 印

帯広市別府町零号31番地4

カルビーポテト株式会社 内

議事録署名人 横山 真 印